



## 平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 株式会社トーア紡コーポレーション 上場取引所 東証一部・大証一部  
コード番号 3204 URL <http://www.toabo.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷 賀寿則 TEL (06)6203-9964  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 阪本 康  
四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	9,371	4.9	493	△6.8	358	△1.2	326	17.1
23年12月期第2四半期	8,934	4.2	529	20.5	363	34.0	278	△18.2

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 392百万円(38.4%) 23年12月期第2四半期 283百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	3.66	—
23年12月期第2四半期	3.58	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	34,901	9,206	26.3
23年12月期	31,894	8,995	28.1

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 9,167百万円 23年12月期 8,955百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	18,000 △0.1	1,000 3.5	700 13.2	550 △25.2	6.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年12月期 2 Q	89,404,488 株	23年12月期	89,404,488 株
② 期末自己株式数	24年12月期 2 Q	176,404 株	23年12月期	175,538 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年12月期 2 Q	89,228,449 株	23年12月期 2 Q	77,822,454 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成されたものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期の決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、震災復興需要の影響もあり景気は緩やかに回復しておりますが、欧州債務問題や原油高、円高の長期化により依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループではお客様に満足いただける商品やサービスの開発・提供ならびに新規顧客の開拓に取り組むとともに、引き続き、生産性の向上と業務の効率化によるコスト削減を推進するなど企業価値の向上に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,371百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は493百万円（前年同期比6.8%減）、経常利益は358百万円（前年同期比1.2%減）、四半期純利益は326百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### [衣料事業]

毛糸部門は、原料相場変動の影響を受けたものの、売上高は前年同期並みとなりました。

ユニフォーム部門は、スクール向けは、原料高によるコストアップがあったものの、増収となりました。

ビジネス向けは、機能素材の拡販と経費削減に努めましたが、低価格化によるウール離れには歯止めがかからず減収となりました。

テキスタイル部門は、百貨店向けはやや低迷しましたが、専門店向けは堅調に推移したため増収となりました。

この結果、衣料事業としましては、売上高4,066百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益159百万円（前年同期比27.4%減）となりました。

#### [インテリア産業資材事業]

ファイバー部門、展示会用ニードルパンチカーペット部門は、好調に推移し増収となりました。

カーペット部門、一般資材用不織布部門は、順調に需要が回復し増収となりました。

自動車内装材部門は、円高の影響で輸出車向けカーペットの売上が減少しましたが、エコカー補助金等の効果もあり増収となりました。

この結果、インテリア産業資材事業としましては、売上高3,530百万円（前年同期比24.1%増）、営業利益119百万円（前年度は22百万円の営業損失）となりました。

#### [半導体事業]

半導体事業は、主力の電動工具向けをはじめ、家電・産業機器向けがともに低調に推移したため大幅な減収となり、売上高642百万円（前年同期比23.2%減）、営業利益21百万円（前年同期比73.9%減）となりました。

#### [ファインケミカル事業]

ファインケミカル事業は、国内向け電子材料分野の需要不振と欧州向け機能性材料の輸出が伸び悩んだため減収となり、売上高433百万円（前年同期比19.1%減）、営業利益61百万円（前年同期比19.8%減）となりました。

#### [不動産事業]

不動産事業は、経費削減効果により、前年同期並みの業績を確保でき、売上高533百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益303百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

#### [その他]

売上高は165百万円（前年同期比16.9%減）、営業損失8百万円（前年度は19百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3,006百万円増加し、34,901百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金及び現金及び預金の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比2,795百万円増加し、25,694百万円となりました。その主な要因は、長期借入金の増加及び長期預り敷金保証金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比211百万円増加し、9,206百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ547百万円増加し、2,927百万円（前年同四半期比53.4%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益349百万円を計上しておりますが、主な増加要因としては非資金的支出費用である減価償却費235百万円、主な減少要因としては売上債権の増加2,249百万円及びたな卸資産の増加246百万円等により、営業活動による資金は2,011百万円（前年同四半期比18.3%増）の支出となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出112百万円及び出資金の払込による支出43百万円、関係会社出資金の売却による収入69百万円等により、投資活動による資金は101百万円（前年同四半期比17.9%減）の使用となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入れによる収入4,596百万円及び社債の発行による収入488百万円、長期借入金の返済1,613百万円及び社債の償還による支出435百万円等により、財務活動による資金は2,652百万円（前年同四半期比162.6%増）の獲得となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

修正につきましては、平成24年8月7日に別途開示しました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,443	3,000
受取手形及び売掛金	2,387	4,641
商品及び製品	1,805	1,828
仕掛品	558	653
原材料及び貯蔵品	1,048	1,182
その他	135	193
貸倒引当金	△37	△59
流動資産合計	8,341	11,441
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,907	2,879
機械装置及び運搬具(純額)	652	606
土地	17,629	17,629
リース資産(純額)	4	7
建設仮勘定	95	81
その他(純額)	44	51
有形固定資産合計	21,334	21,256
無形固定資産		
その他	119	99
無形固定資産合計	119	99
投資その他の資産		
投資有価証券	1,229	1,246
その他	904	888
貸倒引当金	△35	△31
投資その他の資産合計	2,098	2,104
固定資産合計	23,552	23,459
資産合計	31,894	34,901

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,587	1,593
短期借入金	5,872	6,079
1年内償還予定の社債	1,470	1,490
未払法人税等	29	26
その他	1,035	1,020
流動負債合計	9,994	10,211
固定負債		
社債	1,445	1,490
長期借入金	3,456	6,349
繰延税金負債	5,017	5,013
退職給付引当金	865	849
負ののれん	8	4
長期預り敷金保証金	1,890	1,591
資産除去債務	28	28
その他	192	156
固定負債合計	12,904	15,482
負債合計	22,898	25,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,940	3,940
資本剰余金	3,570	3,570
利益剰余金	1,635	1,783
自己株式	△17	△17
株主資本合計	9,129	9,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	50
繰延ヘッジ損益	△10	△5
為替換算調整勘定	△194	△154
その他の包括利益累計額合計	△173	△109
少数株主持分	39	39
純資産合計	8,995	9,206
負債純資産合計	31,894	34,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	8,934	9,371
売上原価	7,118	7,527
売上総利益	1,815	1,844
販売費及び一般管理費	1,286	1,350
営業利益	529	493
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	17	17
負ののれん償却額	4	4
持分法による投資利益	16	12
その他	20	20
営業外収益合計	61	56
営業外費用		
支払利息	158	146
為替差損	1	5
その他	68	39
営業外費用合計	228	191
経常利益	363	358
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	—
固定資産売却益	0	—
受取補償金	8	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
固定資産廃棄損	5	0
固定資産売却損	0	—
関係会社出資金売却損	—	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	—
特別損失合計	48	9
税金等調整前四半期純利益	323	349
法人税、住民税及び事業税	43	20
法人税等調整額	0	△0
法人税等合計	44	20
少数株主損益調整前四半期純利益	278	328
少数株主利益	0	2
四半期純利益	278	326

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	278	328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	18
繰延ヘッジ損益	22	5
為替換算調整勘定	15	24
持分法適用会社に対する持分相当額	3	15
その他の包括利益合計	4	63
四半期包括利益	283	392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283	390
少数株主に係る四半期包括利益	0	2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	323	349
減価償却費	249	235
負ののれん償却額	△4	△4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△242	△16
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	22
事業撤退損失引当金の増減額 (△は減少)	△14	—
受取利息及び受取配当金	△20	△18
支払利息	158	146
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	—
固定資産廃棄損	5	0
固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
関係会社出資金売却損益 (△は益)	—	8
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,653	△2,249
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△380	△246
仕入債務の増減額 (△は減少)	△28	3
長期預り敷金保証金の増減額 (△は減少)	△31	△26
その他	71	△35
小計	△1,521	△1,830
利息及び配当金の受取額	18	18
利息の支払額	△177	△146
法人税等の支払額	△21	△57
法人税等の還付額	1	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,700	△2,011
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△74	△20
定期預金の払戻による収入	62	10
投資有価証券の取得による支出	△24	△3
子会社株式の取得による支出	—	△1
関係会社出資金の売却による収入	—	69
出資金の払込による支出	0	△43
有形固定資産の取得による支出	△43	△112
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△9	△2
貸付けによる支出	△39	—
その他	4	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124	△101

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	110
長期借入れによる収入	2,600	4,596
長期借入金の返済による支出	△1,888	△1,613
社債の発行による収入	1,175	488
社債の償還による支出	△360	△435
建設協力金の返還による支出	△272	△272
割賦債務の返済による支出	△69	△42
株式の発行による収入	175	—
配当金の支払額	△149	△176
その他	△0	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,009	2,652
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△812	547
現金及び現金同等物の期首残高	2,722	2,380
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,909	2,927

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	衣料事業	インテリア 産業資 材事業	半導体 事業	ファイ ンケミ カル 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,977	2,845	836	536	538	8,735	198	8,934	—	8,934
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3	4	7	—	9	25	127	153	△153	—
計	3,980	2,850	844	536	547	8,760	326	9,087	△153	8,934
セグメント 利益又は損 失(△)	220	△22	83	76	301	659	19	679	△149	529

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである自動車教習事業、新規事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△149百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△157百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	衣料事業	インテリア 産業資 材事業	半導体 事業	ファイ ンケミ カル 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	4,066	3,530	642	433	533	9,206	165	9,371	—	9,371
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8	6	4	—	8	27	128	156	△156	—
計	4,074	3,537	647	433	541	9,234	293	9,527	△156	9,371
セグメント 利益又は損 失(△)	159	119	21	61	303	666	△8	657	△163	493

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである自動車教習事業、新規事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△163百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△163百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。